

植物観察

自然体験的学習活動

A-2-(1)-②

| | |
|---------|--|
| 活動の概要 | 渡嘉敷村に属する島々の植生は、亜熱帯地域の特性を持つものである。小さな島々を全体的に見ると、沖縄本島北部の植生と類似する。しかし、島の成り立ちが山地で占められ、海涯や急勾配の斜面が多い点などから島の植生には特徴的なものが多い。 |
| 実施時期 | 年間を通して可能 |
| 用具 | 目的に応じて準備（例・・・図鑑、資料、メモ用紙、スケッチブック等） ・参考資料『渡嘉敷村史』第1章 渡嘉敷の自然 第4節 植物 ・環境プログラム開発『渡嘉敷島の自然と歴史』資料編 |
| 活動場所 | 所内、島内 |
| 活動形態 | 教科学習：生活科や理科の野外学習として 観 察：ハイキングしながらの観察 |
| 主な群落の植生 | (1) 山地部の植生 ・リュウキュウマツ・スダジイ（イタジイ）・ビロウ（クバ）・アダン・ギーマ ・ハマヒサカキ・チガヤ・ケラマツツジ・サイヨウシャジン・アフリカタヌキマメ ・ツワブキ・ヤマモモ・ナンゴクネジバナ等々 (2) 海浜植生 ・ツキイゲ・ハマゴウ・ゲンバイヒルガオ・ハマヒルガオ等々 (3) 低地部の植生 ・クワズイモ・ハルノノゲシ・カタバミ・ススキ・フクギ等々 |
| 観察コース | ・青少年交流の家周辺 ・集落内 ・渡嘉敷林道 ・大谷林道 |
| 活動上の留意点 | ・活動計画を立てる場合は、職員と相談する。 ・草むらには入らない。（ハブに注意） |